



琴丘高校 図書館だより

中間考査が
終わりました！
さあ本読もう♪

第2号 令和5(2023)年 5月発行



◎和装本の虫干し展示を行いました！(5/10～5/16)

今年度図書館伝統文化活動第1弾は、オープンスクール・学年懇談会(5/12)に合わせて、琴丘コレクション和本の虫干し展示でした！

教職員・生徒はもちろん、保護者の方にも図書館に足を運んでいただき、和本に触れる貴重な機会となりました。鑑賞するすべての人が、まず琴丘にこのような和本があることに驚き、版画で刷られているのを忘れるくらい緻密な字と絵にさらに驚きます。また、和本を手に取り、ページをめくることもでき、博物館などでは決してできない体験もできます。和本の軽さにびっくりしながら「私たちの教科書もこんな軽さだったらいいのに」とつぶやく生徒もいました。

学期に1度のペースで虫干し展示を行う予定です。



琴丘が所蔵する名所図会(めいしよずえ・江戸時代の旅行ガイドブック)から、『東海道名所図会』『伊勢参宮名所図会』『播州巡覧名所図会』を展示しました。俯瞰で名所を描き、優れたデッサン力、表情豊かな人々の姿に江戸時代の歴史や文化を垣間見ることができます。



NHK 朝ドラ関連企画！

ドラマの中で、のちに植物学に精通する主人公が熱心に目を通していた『本草綱目』(ほんぞうこうもく)も琴丘にあるんです！明代中国で作られ、日本には江戸時代に伝来し、薬草好きの家康公にも献上されたとか。植物・生物のスケッチだけでなく、薬草・漢方としての効用も詳細に書かれています。



お知らせ

琴丘でしか
体験できません！

*図書文芸部の活動

・琴フェス文化祭第2日目(6/9 校内開催)

『東海道名所図会』の解説スライドを図書館で上映します！

(便乗企画「図書館リサイクルフェア」もお楽しみに♪)

・7/15(土)@姫路文学館 一般参加者対象『東海道名所図会』解説

*令和5年度「琴丘高生が取り組む世界遺産姫路城の障子紙を漉いて張る」一連行事

①〈材料採取〉7/25(火)午前 @香寺町須加院 ・午後 @書写山

②〈紙漉き〉8/3(木)午前 ③〈障子張り〉8/24日 ②・③とも@琴丘しらすぎ会館

《予告》読書感想文・感想画コンクール開催！！

1・2年生は全員、3年生は希望者を対象に、夏季休業中の

課題として読書感想文または読書感想画を募ります。学校代表作品は、

「兵庫県学校図書館協議会播磨西高校読書感想文／感想画コンクール」に出品します。

(ちなみに気になるその後の流れ…)

兵庫県コンクールにて優秀作品選出→兵庫県知事賞(第1席)は全国コンクールへ→過去10年受賞者が出ていない学校代表は「内閣総理大臣賞」「文部科学大臣賞」にノミネート!

第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 (紹介文は全国学校図書館協議会の解説を参考)

☆『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇美緒 著／集英社



少年時代に心に傷を負い、深海魚の一種・ラブカのようにひっそり生きてきた青年・橘が、上司から音楽教室への潜入調査を命じられる。身分を偽り通い始めた教室で、チェロ講師・浅葉の生徒となり、師や仲間と出会い、チェロを奏でる歓びに目覚める。

主人公の目や耳を通して、音楽の本質に読者に触れてほしい。また音楽を通して変化していく、主人公の苦悩や想いを読者に感じ取ってほしい。

☆『タガヤセ！日本』

「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます

白石優生 著／河出書房新社

農業ってこんなに面白い！ 若き官僚 YouTuber として多くのメディアにも登場する著者が、最新の農業から、実はスゴい日本の農作物のこと、日本の農業の未来までを語る1冊。

農業を新しい視点で見つめなおし、その技術力や生産力が進化していることを知ってもらいたい。食料自給率ばかりが問題とされがちな昨今、新しい視点で農業を考えてもらいたい。



☆『昆虫の惑星』

アンヌ・スヴェルトルップ＝ティエグソン 著／小林玲子 訳

／辰巳出版

世界22ヶ国以上で翻訳！

虫が苦手という人は多いが、虫の世話になっていない人は地球に1人もいない。あなたの知らないところで黙々と仕事をしている昆虫たち。ノルウェーの女性昆虫学者が、

奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へと誘うノンフィクション。

女性科学者による本書は、理系女子の励みにと期待を込めて選定。

地球環境の激変が心配される中、昆虫保護の視点からも高校生がさまざまな考えをめぐらすことができる。

1年生は教室にある『読書三餘』
をご覧ください。先輩たちの秀作
が載っています!

魅力的な読書感想文・感想画
をかく決め手は、やはり本選び！
「課題図書」は読書のプロが選んだ
作品なので、感動や知識を得やすいメ
リットがあります。一方、「自由図書」
は自分の興味・関心にあった作品が選
べ、自らの体験を重ねやすいのが何よ
りの特長です。本との素敵な出会いが
ありますように。

